

提案書

武蔵小金井駅南口第1種市街地再開発第二地区及び
ホール・市庁舎・図書館等の建設計画

平成19年2月

souken.org

JR 武蔵小金井駅南口再開発第2地区

本体用地：15552.11㎡ 種地：本庁舎約2000㎡（消防署を除く面積）

コンセプト：自然との共生/地域との共生：満ち足りた生活を満喫する。

人々が集まる“街”を目指す！人が集い物が売れる低層ショッピングモールで、心休まる街づくりを目指す。

プラザ（広場）は、春から秋までグリーンに覆われ、清々しく、人々が潤う、癒しを享受できる街を目指す。

*車いす用駐車場・車いす用エレベーター・車いす用トイレ

*ベビーカー・授乳室・児童一時預り保育所・認証保育園の誘致

*ATMコーナー

*雨水の活用：各店舗画区の前面に小川の創出：雨水留水槽から循環
：散水用水も雨水利用。

*2F店舗1, 2の屋上にソーラーシステム導入：照明等に使用

プラザ（広場）は、店舗2Fの軒高（約7メートル）で、葡萄園を創る。

① 3月から10月まで葡萄の葉で直射日光を避ける広場。

② 直径5～10メートルほどの円形を5ヶ所程つくり、そこは直射日光を入れる。

③ 秋には収穫祭を行う。駐車場屋上でのキュウイフルーツも同様。

各店舗：テナントミックスを行なうことにより集客力のアップ：目標年間1000万人・日27400人

市・機構案：

文化ホール 66 億円

市庁舎 92 億円

合計 158 億円

Project 「蛇の目ミシン跡地」

文化ホール＋市庁舎＋図書館 62 億円

$7000\text{m}^2 + 9000\text{m}^2 + 4500\text{m}^2 = 20500\text{m}^2$

金額差 9 6 億円

1、第2地区 コンセプト

A,都市間戦争を勝ち抜く為

市外の消費者を招致する方法

B,21世紀型商業都市空間の創出—ECO ロジー

ハンデキャッパー・乳幼児対策・雨水の活用・ソーラーシステム導入

C,収穫の喜びを味わう（ボランティアの活用）

葡萄畑・キューウィフルーツ畑の活用：収穫祭

D,テナントミックスで魅力ある“街”創出

2、蛇の目跡地活用（市案と比較しながら）

A,文化ホール・ギャラリー 7000 m²

現計画 6000 m²

(駅前文化ホール・ギャラリー・交流センター)

B,交流センター・図書館 4500 m²

現図書館 1834 m²

(交流センター 1500 m²、図書館3000 m²)

C,市庁舎 9000 m²

現第二庁舎 6000 m²